

科目名	精神看護学援助論ⅡB Psychiatric and Mental Health Nursing Care Assistance ⅡB		担当教員 (研究室番号)	木戸 芳史 (402) 前川 早苗 (広域分野) 奥野 史子 (非常勤)		教員への連絡方法 (メールアドレス)					
履修 年次	1年次 前期	科目 区分	支持科目	選択 区分	コース 必修	単位数 (時間)	2(30)	授業 形態	講義	科目等 履修生	可
科目 目的	精神的困難を抱えた人とその家族の理解および生活の評価に必要な基礎的理論とアセスメント技法を理解し、卓越した看護実践に必要なとされる対象を包括的に評価する能力を修得する。										
到達 目標	1) 精神的困難を抱えた人の生活の評価に必要な概念と理論を理解することができる。 2) 精神症状および精神機能のアセスメントと診断に用いられる概念と理論を理解することができる。 3) 精神看護学に関連する諸理論・アセスメント技法を活用し、精神的困難を抱えた人とその家族を包括的に評価することができる。										
成績評価方法 (基準)	①講義に対する事前準備 (50%)、②講義におけるディスカッションへの参加 (50%)										
教科書	高度実践看護 統合的アプローチ. へるす出版(2017) 精神看護スペシャリストに必要な理論と技法. 日本看護協会出版会(2009)										
参考書等	随時紹介する。										
受講者への メッセージ	精神的な困難を抱えた人を支援するためには、対象者を適切にアセスメントし、それをチームや対象者と共有するための物差しが必要です。各アセスメント手法や尺度について理解し、臨床での応用可能性について議論していきます。										
備考											
回	学習項目			学習内容				主担当 教員	授業 方法		
1回	オリエンテーション 学習内容と課題・目標の設定			・授業目標、授業日程、学習課題を確認する。 ・学生間でディスカッションを行い、自らの学習課題を明確にし、課題の分担を行う。				木戸 他	講義		
2回	精神力動論と自我機能のアセスメント			・フロイトの精神力動論を用いた自我機能のアセスメントについて学ぶ。				木戸 他	講義		
3回	心理・社会的成長発達に関する理論とアセスメント			・エリクソンの心理・社会的発達理論を用いた発達課題のアセスメントについて学ぶ。				木戸 他	講義		
4回	ストレス・適応理論とアセスメント			・人間の危機をアセスメントするための様々な理論(ストレス理論、適応理論)と手法(アセスメントツール、評価尺度)について文献検討を行い、発表する。				木戸 他	演習		
5回	セルフケア理論とアセスメント			・精神的困難を抱えた人のセルフケアをアセスメントするための様々な理論と手法(アセスメントツール、評価尺度)について文献検討を行い、発表する。				木戸 他	演習		
6回	社会機能に関する理論とアセスメント			・精神的困難を抱えた人の社会機能をアセスメントするための様々な理論と手法(アセスメントツール、評価尺度)について文献検討を行い、発表する。				木戸 他	演習		
7回	QOL理論とアセスメント			・精神的困難を抱えた人とその家族のQOLアセスメントするための様々な理論と手法(アセスメントツール、評価尺度)について文献検討を行い、発表する。				木戸 他	演習		
8回	家族に関する理論とアセスメント			・精神的困難を抱えた人の家族をアセスメントするための様々な理論と手法(アセスメントツール、評価尺度)について文献検討を行い、発表する。				木戸 他	演習		
9回	精神の健康状態の査定			・Mental Status Examination: (MSE)とMental Health Assessment (MHA)を用いた精神状態の査定について学ぶ。				木戸 他	講義		
10回	精神疾患の診断			・精神疾患の診断方法について、DSM, ICDを用いて学ぶ。				木戸 他	講義		
11回	精神症状のアセスメント①統合失調症			・統合失調症患者における症状(陽性症状・陰性症状)のアセスメントに必要な理論と手法について学ぶ。				木戸 他	講義		
12回	精神症状のアセスメント②気分障害			・気分障害における症状(抑うつ・躁)のアセスメントに必要な理論と手法について学ぶ。				木戸 他	講義		
13回	対象の包括的な評価①			・Paper Patientを用いて、これまでに学んだ概念・理論を活用し、包括的にアセスメントする。				木戸 他	演習		
14回	象の包括的な評価②			・Paper Patientを用いて、これまでに学んだ概念・理論を活用し、包括的にアセスメントする。				木戸 他	演習		
15回	まとめ			・科目を通じた学びを発表し、到達目標に対する自己評価を行う。 ・今後の自らの課題について、ディスカッションする。				木戸 他	演習		